

バイオガソリン(バイオETBE混合)の使用について

日頃よりホンダ製品の拡販、並びにサービス活動にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

2007年4月27日から関東圏50箇所において試験的に販売が開始された「バイオガソリン(バイオETBE混合)」につきまして、お客様や販売会社様から「ガソリンエンジンに使用しても問題は無いのか?」などの問い合わせを頂いております。

「バイオガソリン」は、従来のガソリンに植物を原料の一つとするバイオETBEを配合したもので、JIS及び品質確保法の規格に沿った燃料であり、日本自動車工業会としては現在のところ政府が認可しているバイオETBE混合率7%では、使用に関して問題は無いとされ、Hondaもそれに準じています。

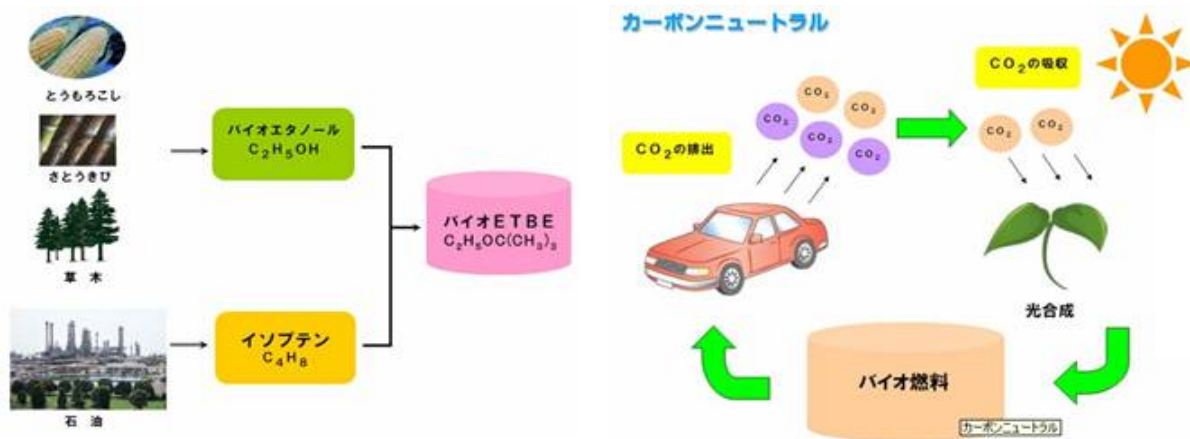
今回のバイオガソリン試験運用は、レギュラーガソリンにバイオETBEを混合させたものであり、オクタン価はレギュラーガソリンとほぼ同等です。
ハイオク仕様車についてはハイオクガソリンに最適化した設計がされており、バイオガソリンでは本来の性能を発揮できないため、ハイオクガソリンを使用することをお勧めします。

●バイオガソリン(バイオETBE混合)とは

植物生まれのバイオエタノールと石油系ガスのひとつであるイソブテンを反応させた「バイオETBE」という物質を配合したレギュラーガソリンです。

地球温暖化の原因とされる大気中の「温室効果ガス」のうち、最も量が多いものが燃料の燃焼や生物の呼吸によって大気中に排出される二酸化炭素です。
植物を原料とするバイオ燃料を燃焼させ発生した二酸化炭素は、次世代の植物が光合成で吸収して育つため、大気中の二酸化炭素の総量を増加させないという考え方(カーボンニュートラル効果)により、環境にやさしいとされています。

バイオガソリンは、今後順次販売量を拡大し、2010年度から全国で本格導入される予定です。



※石油連盟ホームページより抜粋

※上記以外のバイオガソリンに関する内容やQ&Aなどにつきましては、下記ホームページなどをご確認ください。

石油連盟ホームページ : <http://www.paj.gr.jp/eco/biogasoline/index.html>